

田川市立病院に新副院長が就任しました

田川市民のみなさん、はじめまして。
平成25年9月に、副院長兼地域包括ケアセンター長を拝命しました河村康司です。

私が田川市民のために行うことは2つあります。
ひとつは、田川地区での緩和ケアの普及です。緩和ケアとは、がん患者さんにがんに伴う痛みなどのつらい症状が出現したときにこれをできる限り緩和して、生活の質が保たれるようにお手伝いすることです。緩和ケアというと、いまだにがん末期で死が近くなったら受けるものという誤解がありますが、がん治療をしている早い時期から、がんに伴う痛みなどの苦痛があれば緩和することを義務付けた「がん対策基本法」という法律が平成19年4月に施行されました。早期から痛みなどのストレスから解放されることが、残された大切な時間の生活の質を高めることにつながるのではないのでしょうか。

もうひとつは地域包括ケアです。田川地区で医療、保健、福祉が連携して高齢者を支える仕組みを構築し、市民が安心して生活できるように支援していくことです。



PROFILE

副院長兼
地域包括ケアセンター長

かわむら 河村
こうじ 康司

昭和29年7月26日生(満59歳)
昭和57年 長崎大学医学部卒業
平成元年 医学博士取得
元福岡大学医学部助教授

TOPICS 01

小児科平日夜間診療を延長

田川市立病院では田川地域の小児医療を充実させるため、小児科の平日夜間の診療時間を延長しました。どうぞご利用ください。

[小児科 夜間時間外診療]
診療受付時間 平日の18時～21時30分



●お願い

全国的にも安易な夜間の時間外受診(いわゆるコンビニ受診)により小児科医が疲弊していることが重大な問題となっています。この診療体制を今後も継続させるためにみなさんの協力をお願いします。

子どもが夜間に具合が悪くなった場合は、まず電話で確認してください。



相談電話番号 #8000(全国共通)
(医療関係者が対応してくれます)

TOPICS 02

田川地域医療機関 ネットワーク化協議会が発足

田川地域における医療の完結をめざして、「田川地域医療機関ネットワーク化協議会」第1回会議が7月31日に開催されました。協議会は、田川市立病院、社会保険田川病院、川崎町立病院、糸田町立緑ヶ丘病院、福智町立方城診療所および福智町立コスモス診療所の公的医療機関で構成され、まずは6医療機関の連携を深めることにより、田川地域の患者が受けられるだけ田川地域内の医療機関で診療を受けられるようにすることをめざします。

協議会では、各医療機関が、それぞれの医療機関の基本的な情報および医療連携の取り組みについて報告を行い、医療連携に関する今後の協議については連携部会を設置し、検討を進めることが決定しました。

また、協議会后に交流会が開催され、63人の医師をはじめ総勢116人が参加し、積極的な意見交換が行われました。交流会ではワークショップが実施され、田川市病院事業管理者から田川市民の入院患者の約3分の1が他医療圏で治療を受けているなどの問題提起がなされ、各病院長・診療所長が「田川地域における完結医療について」発表を行いました。

今後も交流会を定期的に開催し、親交を深め連携強化に努めることとしています。

